

第14回大学教育研究フォーラム 基調報告／シンポジウム

『相互研修型 FD の組織化をめぐる』

日 時：平成20年3月26日（水） 13：00～17：00

場 所：京都大学百周年時計台記念館 1 F 百周年記念ホール

開 会 の 辞

大 塚 雄 作（京都大学高等教育研究開発推進センター教授）

（大塚） これより第14回大学教育研究フォーラム午後の部、「基調報告／シンポジウム」を開始したいと思います。本日は、年度末のお忙しい中、遠方より多くの方にお集まりいただきまして、本当にありがとうございます。申し遅れましたが、私は午後の部の司会を担当する一人で、このフォーラムの実行委員長も務めさせていただいている高等教育研究開発推進センターの大塚と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

皆さん、恐らくこの4月から大学の方も大学設置基準審の改正でFDが義務化されるということもあって、それをどのように進めていったらいいのかという問題意識をお持ちであろうかと思います。今日は、私どもの特色GP「相互研修型FDによる教育改善」の報告が中心になりますが、京大発のFDの考え方をベースに、今後のFDの在り方について、皆さんとともに議論していくことができればと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、まず主催側を代表いたしまして、本学総長の尾池和夫よりごあいさつをいたします。